

令和5年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立第六葛西小学校

校長名 中山 和義

名称:総合的な学習の時間

学校の教育目標	『考える子』を教育目標の重点とし、基礎的・基本的な内容の確実な定着を通じて学力の向上を図る。「深く考える」「よく考える」「相手の立場に立って考える」など、「考える」についての実践を引き続き強め、人間性豊かな児童の育成に努める。
---------	---

国が示す総合的な学習の時間の目標

- 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
 - (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
 - (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 各教科で身に付けた知識・技能を生かし、自ら課題を設定して自分なりのものの見方や考え方を大切にしながら問題解決的な学習
- 2 問題の解決に向け、情報の活用や情報機器の活用などを積極的に取り入れたり、主体的・対話的に取り組む態度を育てたりする。
- 3 地域社会の一員としての意識をもたせ、地域とのかかわりを深めながら自己の生き方を考えることができるようにする。
- 4 ジャナジョティ小学校との姉妹校交流活動をきっかけに、国際理解教育を進め、国際社会の一員としてのものの考え方を身に付ける。

育てようとする資質や能力及び態度

知識・技能	
第3・4学年	第5・6学年
・互いに関わりながら、それぞれのよさを生かして社会が成り立っていること ・自然環境は、様々な要因で常に変化する可能性があり、一定ではないこと	・人それぞれには特徴があり、多種多様に存在しながら関わり合って生きていること ・社会の変化に合わせて工夫しながらよりよい社会をつくっていること
思考・判断・表現	
第3・4学年	第5・6学年
・問題状況の中から課題を発見し、設定する ・手段を選択し、情報を収集する ・相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現する	・問題状況の中から課題を発見、設定し、学習計画を立てる ・必要な情報を収集し分析する ・相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現する
学びに向かう力、人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
・自らの行為について意思決定する ・目標を設定し、課題の解決に向けて行動する	・目標を設定し、課題の解決に向けて行動する ・自らの生活の在り方を見直し、実践する ・自己の将来を考え、夢や希望をもつ

内 容	学習対象	学習事項
第3学年	・小松葉栽培の歴史や文化とその継承に力を注ぐ人々 ・姉妹校であるジャナジョティ小学校の友達と、彼らが大切にしているネパールの文化	・地域の文化や伝統の継承に力を注ぐ人々の思い ・異文化理解を深めるとともに、自国の文化の素晴らしさ
第4学年	・身近な自然環境とそこに起きている環境問題 ・姉妹校であるジャナジョティ小学校の友達と、彼らが大切にしているネパールの文化	・環境問題と自分たちの生活とのかかわり ・異文化理解を深めるとともに、自国の文化の素晴らしさ
第5学年	・ものづくりの面白さや工夫と生活の発展 ・姉妹校であるジャナジョティ小学校の友達と、彼らが大切にしているネパールの価値観	・農業生産に携わる人々の思いやその工夫と生活の発展 ・異文化理解を深めるとともに、自国の文化の素晴らしさ
第6学年	・将来への展望との関わりで訪ねてみたい人や機関 ・姉妹校であるジャナジョティ小学校の友達と、彼らが大切にしているネパールの価値観	・将来への展望をもつ中で、これまでの人々とのかかわりを振り返ったり、自己の生き方を考えたりする ・異文化理解を深めるとともに、自国の文化の素晴らしさ

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・3年生は地域、4年生は環境、5年生は食育、6年生は国際理解を主なテーマとする ・姉妹校であるネパールのジャナジョティ小学校との交流を図る	・主体的、対話的な学習活動の充実 ・児童の課題意識を連続発展させる支援 ・各教科との関連的な指導の重視	・地域とのかかわりを重視したゲストティーチャーの活用 ・学年PTAと連携した保護者の協力	・個人内評価の重視 ・指導と評価の一体化の実施 ・学期末、学年末における指導計画の評価の実施